

ショート
プログラム

どっちがいい？

○指導のねらい

自分の思いや考えを伝え、他者の意見を聞く経験を通し、一人一人の価値観が違うことを知り、違いを認め合うことの大切さに気付く。

○準備するもの

- ・ 掲示用選択カード、ふりかえりシート

○教育課程、実施時期

- ・ 特別活動（学級活動・ホームルーム活動） ・ SHR 等

○指導のポイント・留意点など

この活動は、二つの選択肢から一つを選び、その選択の理由について、1分間話をして相手に伝えるというものである。話の聞き手には「相手の話を否定することなく、その人らしさを考えながら話を聞くこと」を条件として活動に入らせる。そして、活動後にはふりかえりシートを用いて、どのような気持ちを感じたかをチェックさせる。

展開例

	教員の指示	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎日私たちは小さな選択をしながら生活をしていますよね。今日は「どっちがいい？」という選択ゲームを通して、自分を知り友達を知りたいと思います。 ○ 今までペアになったことがない人とペアになりましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 黒板に写真等を掲示し、児童生徒に選択カードをイメージできるようにする。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今回の選択は、「旅行に行くなら国内旅行、それとも海外旅行のどっちがいい？」です。自分はどっちに行ってみたいかという気持ちを大切に選んでくださいね。選択時間は30秒です。心は決まりましたか。 ○ 選んだことについて、ペアで話をします。どちらが話をするかじゃんけんで決めます。勝った人が先に話します。 ○ 選んだものが同じでも、理由は人それぞれです。自分の言葉で話すことを大切にしましょう。 ○ 聞く人は、相手の話を否定することなく、その人らしさを考えながらしっかりと話を聞きましょう。時間は1分間です。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「どちらがよいか」を決めるのではなく、互いが選択した理由に注目させ、相手の話を聞くことを大切に伝える。 ○ テーマを変えながら（例：豪華ディナーをするなら、中華料理、フランス料理どちらのフルコースにする）、繰り返して実施できるとよい。 ○ 選択がペアで一致しても構わないことを伝える。 ○ 相手の話を聞いていく中で、意見が変わっても最初の選択で話をするように伝える。

<p>ま と め</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 終わりです。交代しましょう。では、次の人、時間は同じ1分間です。 ○ 話を聞いた感想を互いに伝え合いましょう。 ○ 今日の活動を振り返り、「ふりかえりシート」に記入しましょう。 ○ いろいろな感じ方があり、自分と同じ考え、似た考え、違う考え、改めて発見したこともありましたね。互いの選択を大切にしたいですね。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 互いの話を聞いて、感じたことや、聞いて思ったこと、自分の考えと同じところや異なるところ等を相手に伝えるよう促す。 ○ 話が「できる／できない」の評価ではないことを伝える。
----------------------	---	--

ふりかえりシート（「どっちがいい」）

年 組 名前 _____

1. 今回の活動をふりかえり、話をしているときの自分の気持ちに当てはまるものを全て選び、○をつけましょう。

思いが伝わった 思いが伝わらなかった 不安だった 安心感があった

楽しかった 難しかった すっきりした はずかしかった

2. 今日の活動で気づいたことや思ったことを書いてみましょう。

.....

.....